

◇ 田中電気の情報発信NEWSレター ◇

田中電気のeco ～地球に優しい～ 活動紹介

地球温暖化防止に一役

北海道増毛(ましけ)町

★Mashike



田中電気では、北海道増毛町の暑寒別岳の山麓に約100万坪(サッカー場約460面)の山林を所有しています。この山林で吸収している二酸化炭素の量を人間の数に置き換えると、約19万人の人が1年間に吐き出す二酸化炭素の量になります。東京都の西東京市の人口とほぼ同じです。

また、12年前から赤えぞ松、とど松などの植林をしております。現在まで約4万3千本を植林しました。管理を委託してしている留萌南部森林組合のお話では、山には水土保持機能(水と土を守るはたらき)があり、山が豊かになると、その養分が川へ流れて海が豊かになり、昔のように魚介類がたくさん捕れるようになったと言われました。これからも植林を進めて山を豊かにし、地球温暖化の防止と地球環境保護にお役に立ちたい

と考えております。増毛町は北海道北西部、日本海に面した人口6千人の、海と山に囲まれたのんびりした穏やかな町です。カリスマシェフのオテル・ドゥ・ミクニの三國清三さんはこの町の出身です。また、日本最北の酒蔵といわれる国稀酒造の美味しい日本酒『国稀』と『北酔』は是非お奨めです。

国稀酒造ホームページ⇒<http://www.kunimare.co.jp/>



9年前に植林した赤えぞ松と社長。やっとう肩の高さになりました。

■お知らせ 『危機管理産業展2008』に出展します
日時：10/8(水), 9(木), 10(金) 10:00~17:00
場所：東京ビックサイト 西ホール
災害時の連絡手段として活躍する無線機と、セキュリティカメラを展示します。ご来場希望の方は招待券を差上げます。フリーダイヤル 0120-150-712まで
皆さまのお越しを、お待ちしております！

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@akihabara-factory.com

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

江戸の歴史

うしてんじん
『北野神社(牛天神)』

シリーズ No. 20



東京メトロ丸の内線・後楽園駅下車春日通りの伝通院から安藤坂を南に下ると左側に、明治の歌人・中島歌子が主催した歌塾・萩の舎の跡がある。歌子は幕末に水戸藩士林忠左衛門と結婚するが、夫が「天狗党の乱」に加わり牢死したため、実家に帰り萩の舎を開いた。萩の舎をさらに南へ下り、小石川保健所を左折した突き当たり



に北野神社の急な階段がある。元暦元年(1184年)、源頼朝が社殿を建てたと伝えられる。縁起によれば、頼朝が東国を追討せんと、海が迫るこの台地の老松に船をつなぎ、なぎを待った。まどろんだ夢の中に、菅原道真公が現れ、ふたつの吉事があると告げた。夢がさめると、かたわらに牛の形をした奇石があった。その秋、長男の頼家が誕生し、翌年には平家が滅亡した。喜んだ頼朝が

神社を建てた。「つなぎの松」と「牛石」が残るこのいわれから牛天神ともいわれた。境内に中島歌子の「雪中竹」歌碑がある。歌子没後に弟子たちが建てたもの。筆は鍋島侯夫人栄子によるものである。(歴史の散歩道参照)

とちぎ ドコモショップ秋葉原中央通り店、榎木君 が首都圏CS大会2008で健闘!

8月7日(木) 田町駅にある『女性と仕事の未来館』にてお客様へのサービスを競い合う「全国カスタマーサービスコンテスト」首都圏大会が開催されました。(パナソニックテレコム(株)主催) 昨年は全国で110店舗が参加。30代OL、50代会社員、パン屋さんなどのお客様を仮定し、心のこもった対応を各店舗の代表が舞台の上で競い合いました。このうち2名が全国大会へと進出します。今回は惜しくも代表には選ばれませんでした。が大健闘でした。

『ドコモを使っただいてありがとうございます。という気持ちで臨みました』と榎木君。「真のお客様サービス」に向けて更に精進していきます。



榎木君(右側) 約250名の前で健闘

とっておきのアキバくちコミグルメ 割烹 たなか

ランチ時間の魚がし井は、早く行かないと売り切れてしまうほどの人気。他には焼き魚、お刺身など、和食が中心です。ワシントンホテル(現在工事中)の斜め前、ラオックス楽器館の隣。ビルの少し奥まったところに入口があります。お座敷のあるこじんまりとしたとてもいいお店です。



魚がし井(写真左)は、たくさんの新鮮なお刺身と、何といてもごまだれが特徴です。この看板(写真右)が目印です。

SHOP DATA 千代田区神田佐久間町1-16 大橋ビル1F
TEL03-3252-5152

編集後記 後楽園にある北野神社に向かう階段は全55段、階段の両脇には梅の木が生い茂っていて何ともいえない風情がありました。こちらの階段は、『東京の階段』～都市の「異空間」階段の楽しみ方～日本芸社発行 松本泰生著(2007年12月発刊)という本に載っているそうです。美しい階段や歩いて楽しい階段など都心の階段120ヶ所あまりが収録され、なかなか人気とのこと。都市徘徊blog【<http://blog.goo.ne.jp/asabata>】も面白そうです。